

Q 妊娠中に親知らずを抜くタイミングは？

先頃、結婚しました。結婚前から、時々上下の親知らずが痛みましたが、時間がなかったため抜歯せず、薬で落ち着かせています。今後、子供がほしいと考えています。妊娠中でも抜歯はできるのでしょうか。どのようなタイミングで抜いてもらったらいいのでしょうか。少し怖いです。

(君津市、女性 29歳)



イラスト・めいもも

では、歯の痛みや腫れなどの自覚症状がなく、妊娠をしていない時期をお勧めします。ただ、妊娠中でも時期によっては抜歯

定期に入るために、治療を行うのであればこの時期がいいと思います。妊娠後期(8か月以降)は早産などの危険性もあるた

抜歯の時の局所麻酔の影響も、通常の使用量では問題ないといわれています。しかし、一部の使用薬剤によっては分娩促進作用があり、胎盤の循環を妨げるものもありますから歯科医とよく相談してください。
X線写真撮影の影響を心配される人も多いですが、歯科で撮影する小さなフィルム1枚のX線量は0.01ミリシーベルトです。自然放射線の1年分に比べ、極めて少

くないので安全な値といえます。抜歯の際に使用される薬についても、前もってかかりつけの産婦人科・歯科の先生と相談し、決めておいた方が安心です。

妊娠すると、身体のホルモンバランスが変化し、お口の中も影響を受けやすくなります。つまり、虫歯や歯周病にかかりやすくなるのです。口の中を常に健康な状態にしておくことも大切です。

A 安定期中に治療を

ご結婚おめでとうございませう。これから妊娠・出産を考えておられるようですが、質問の親知らずを抜くタイミングとし

妊娠中期(4~7か月)は安

め、やはり避けた方がよいでしょう。妊娠中の抜歯でも、特別な治療になるわけではありません。ただし、治療台で真横になるのは避けましょう。心臓に戻る血液が流れる太い静脈が、赤ちゃんに圧迫されてお母さんが貧血を起こす可能性があるからです。

健康な状態にしておくことも大切です。

お口の健康相談室

は可能です。

妊娠初期(3か月まで)は、赤ちゃんの主要器官(脳や心臓

赤ちゃんにとってはこの時期が最も大切な期間になり、精神的にも肉体的にも刺激を受けるような抜歯は避けたほうがよいと思います。

妊娠中期(3か月まで)は、赤ちゃんの主要器官(脳や心臓など)が作られる時期です。赤ちゃんにとってはこの時期が最も大切な期間になり、精神的にも肉体的にも刺激を受けるような抜歯は避けたほうがよいと思います。